

ダンスの創作と発表



**実施
学校名** 荒川区立ひぐらし小学校

日時 令和6年7月5日（金）

場所 体育館

プログラム 概要

- ・腕を組む、手を叩く、手を広げる、投げるなどの身近な仕草でも、音に合わせることでダンスとなっていく仕組みを知りました。
- ・リズムにはアクセントと間が重要であることを学び、グループ内でコミュニケーションを深めながら振付を完成させました。
- ・ダンスの発表を通じて、表現する楽しさ、先生や友達に観てもらえる喜びを味わいました。

体験 風景

1 リズムを生み出す



ダンスでは、音楽に合わせてカウントをとることや、「いいリズム」を作るためには「強弱」や、「間」も必要であることを教わりました。講師と一緒に手拍子で「間」やカウントのとり方を練習をしました。

2 身近な動きからダンスを作る



手を広げる、投げる等の身近な動作も、顔の向きや体の角度を変化すれば格好良いポーズになることや、いろいろなポーズとリズムを組み合わせ、ダンスが構成されることを学びました。

3 リズムに合う動きを当てはめる



課題曲を4パートに分け、グループ毎に自分たちが担当するパートの振付をつくりました。動きを考えてメモを取り、講師からアドバイスをもらいながら実際に踊り、繰り返しリズムに合う動きを当てはめていきました。

4 ダンス発表



出来上がった振付をクラスごとに発表し、最後は、児童全員で一緒に踊りました。仲間と一緒に振付をつくり表現をする楽しさ、先生や友達に観てもらえる喜びを味わっている様子でした。

参加した 児童の声・ 反応

- ・苦手だと思っていたダンスが、みんなと創り上げていくことで楽しく感じました。自分たちで動きやリズムを考えたことが思ったより楽しくできました。
- ・表現は苦手で、今までの運動会もあまりやりたいイメージがなかったけれど、もっと自分で創作してみたいと思えて、ダンスが楽しいことを知ることができました。
- ・もともとダンスを習っていて、動きやリズムについて学んでいたのでも、自分なりに工夫した動きも編み出すことができました。